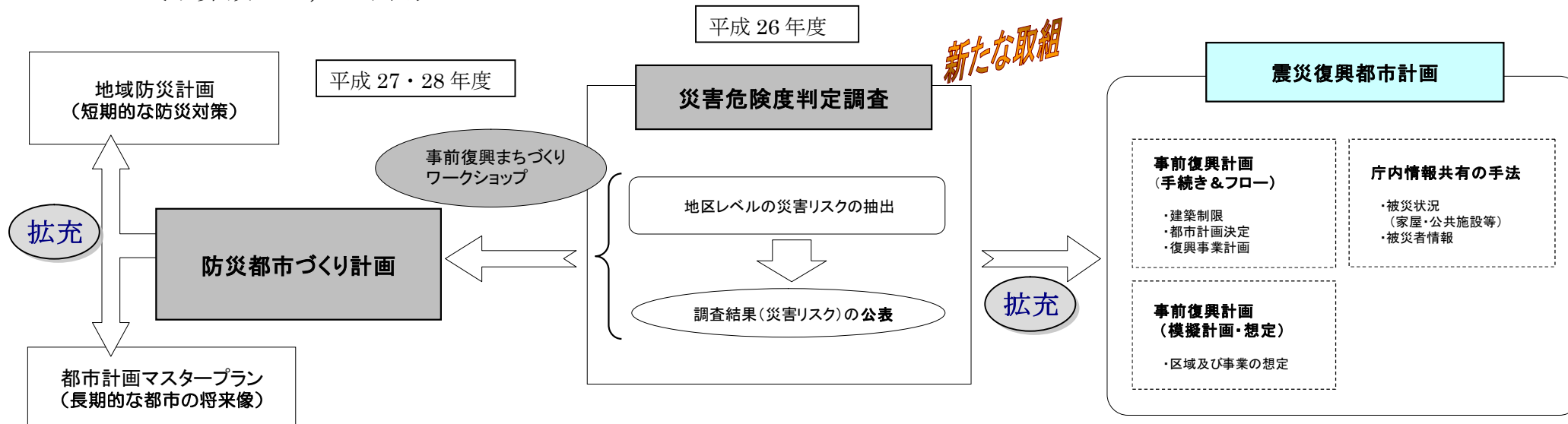


新規 防災都市づくり計画策定業務

〔予算額 14,040千円〕

都市整備部 都市計画課
計画班 (23-6284)



○防災都市づくり計画

- 【法令等の位置付け】
 - 東日本大震災を踏まえ同計画の策定指針の通知 (H25国交省)
- 【内 容】
 - 地震・(津波)・豪雨等の様々な災害が対象。
 - 災害危険度判定調査を踏まえ、減災のための具体的施策 (都市計画、市街地整備事業等)を位置づけ。
 - 自助と共助の取組推進、官民の役割の明確化。
 - 防災の観点をまちづくりの計画に具体的に記述

○災害危険度判定調査

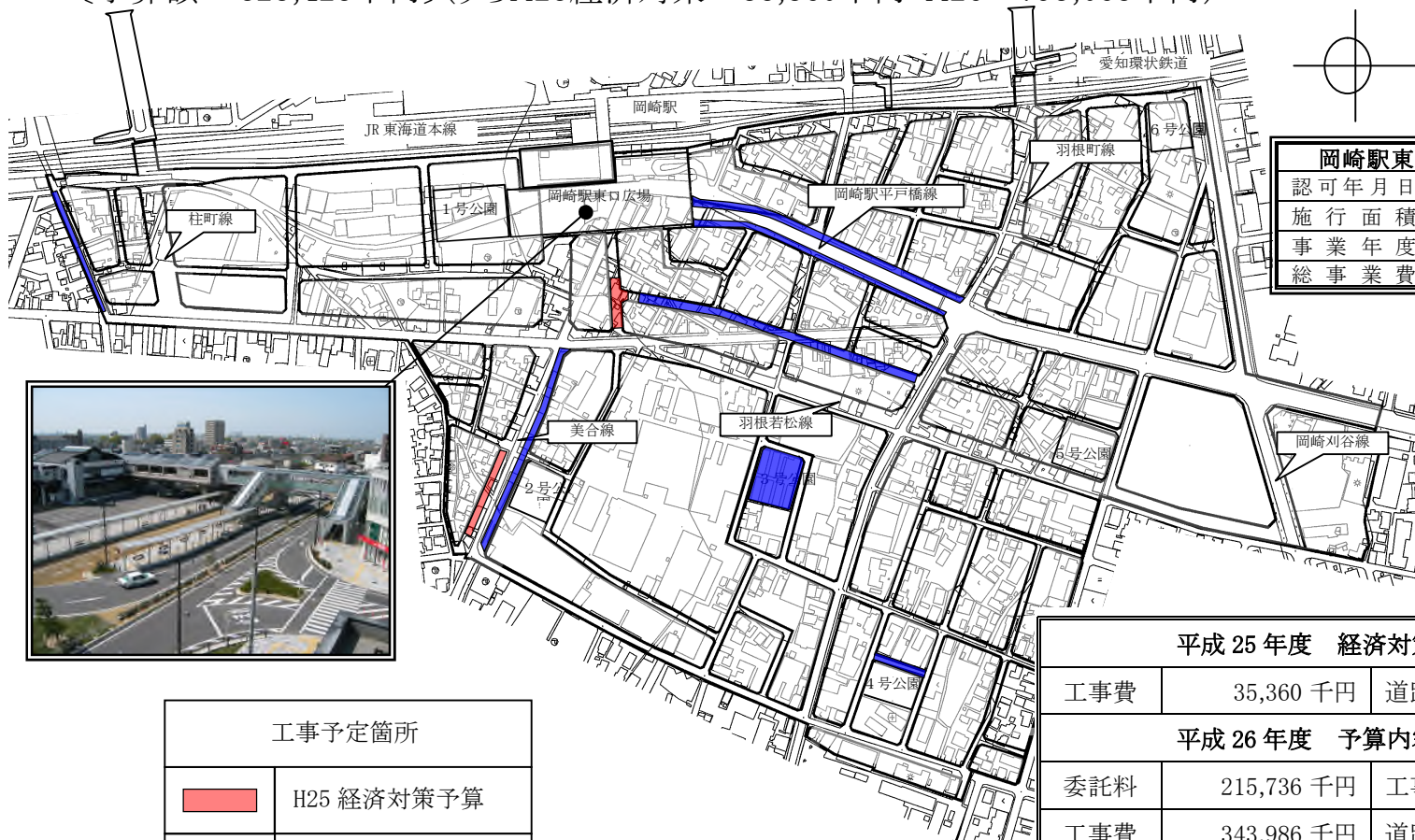
- 建物倒壊や火災の危険性、消防・避難の困難性など市街地の災害危険度の判定調査
- 都市計画基礎調査のデータ等を活用して実施。
- 平成24年8月内閣府発表の南海トラフの巨大地震による被害想定を受け調査を実施。



岡崎駅東地区整備業務

都市整備部 市街地整備課
総務班 (23-6264)

[予算額 828,425千円] (うちH25経済対策 35,360千円・H26 793,065千円)



岡崎駅東土地区画整理事業概要

認可年月日	平成3年1月11日
施行面積	40.2ha
事業年度	平成2年度～平成31年度
総事業費	32,850,000千円

平成 25 年度 経済対策予算内容

工事費	35,360 千円	道路築造等
-----	-----------	-------

平成 26 年度 予算内容

委託料	215,736 千円	工事実施設計等
工事費	343,986 千円	道路築造、仮設住宅撤去等
補償費	233,343 千円	建物等移転補償金等

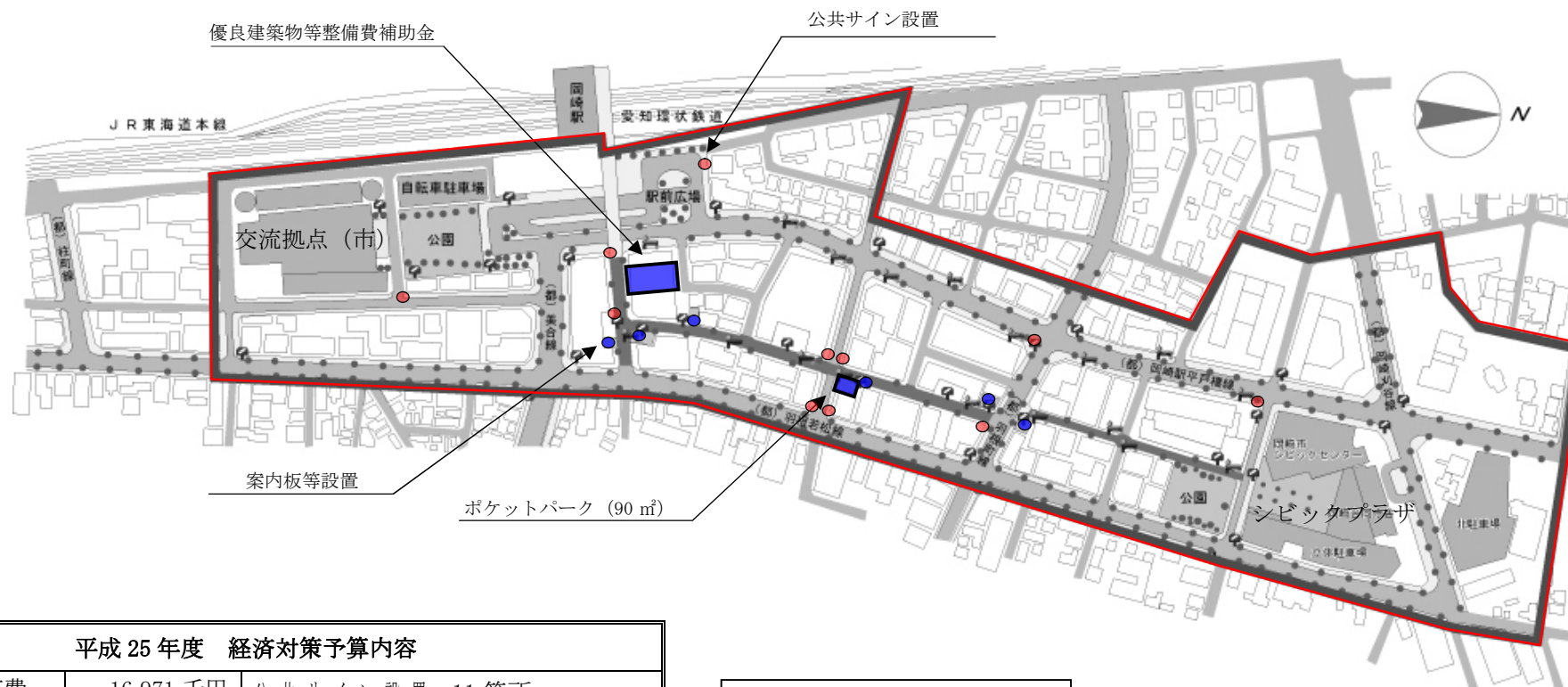
工事予定箇所

	H25 経済対策予算
	H26 予算

シビックコア地区整備業務

都市整備部 市街地整備課
総務班 (23-6264)

〔予算額 142,017千円〕(うちH25経済対策 16,971千円・H26 125,046千円)



平成 25 年度 経済対策予算内容			
工事費	16,971 千円	公共サイン設置	11 箇所
平成 26 年度 予算内容			
工事費等	125,046 千円	ポケットパーク	1 箇所
		案内板等設置	6 箇所
		優良建築物等整備費補助金	1 箇所

工事予定箇所	
	H25 経済対策予算
	H26 予算

事業の概要	
計画策定	平成 8 年 2 月 29 日
地区面積	18.4ha
事業年度	平成 7 年度～平成 31 年度
総事業費	1,914,000 千円

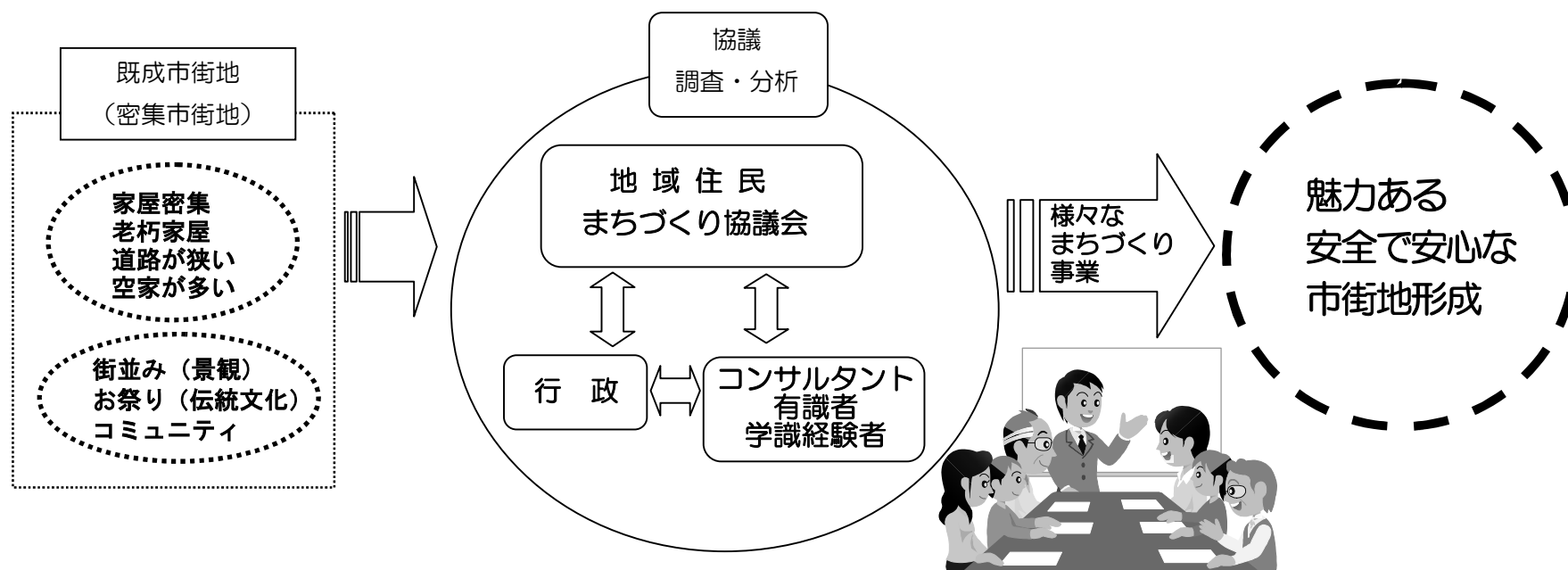
新規

密集市街地整備推進業務

〔予算額 4,840千円〕

都市整備部 市街地整備課
総務班（23-6264）

■重点密集市街地及び緊急密集市街地など、家屋が密集し、老朽家屋が多く、道路が狭いことにより消防活動や避難の困難性が高い既成市街地において、大規模地震時等に大規模火災等の可能性など、防災上の危険性が高い地区を対象に、地域住民の方々と共に、防災上の課題を話し合い、防災性の向上に向けてのまちづくりを考えていきます。また、歴史・文化などの地域の特色を活かした良好で魅力あるまちづくりへの取組を進め、様々なまちづくり手法を活用し、魅力ある安全で安心な市街地形成を図ります。

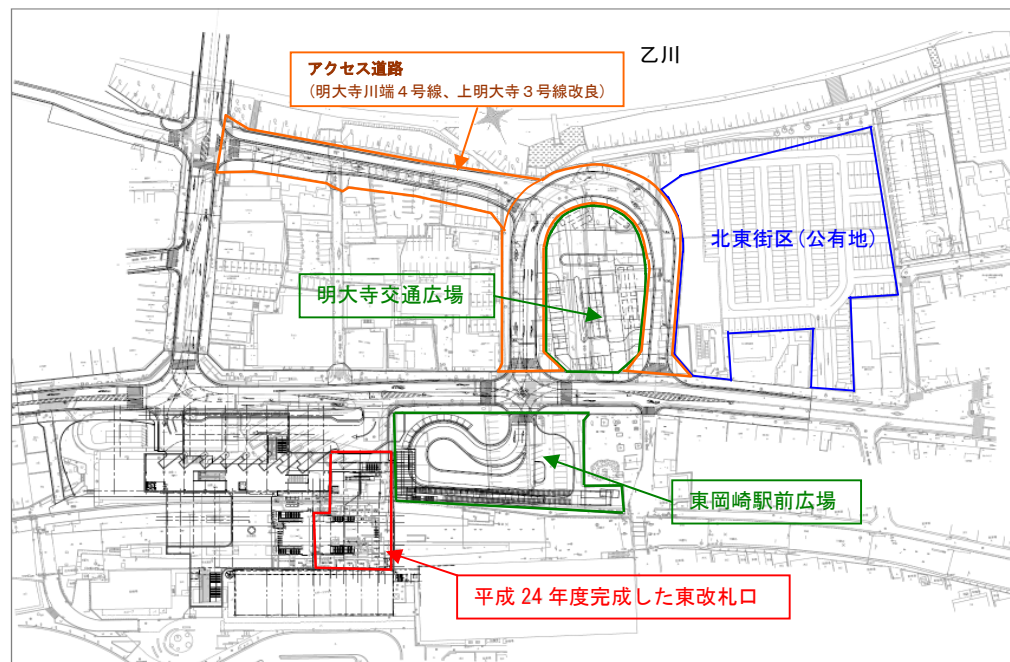


東岡崎駅周辺地区整備推進業務

都市整備部 拠点整備課
総務班 (23-6452)

〔予算額 966,510千円〕

- 本市の玄関口である東岡崎駅周辺地区を「誰もが使いやすい にぎわいの交流拠点」とすることを目的としています。
- 乙川リバーフロント地区整備との連携により相乗的に効果を高めることができるよう、北口駅前広場整備のための工事に着手します。また、市有地の有効活用として、民間活力を活かし、都心にふさわしい魅力的な拠点地区の形成に向けた関連施設整備を計画している北東街区有効活用事業について、プロポーザル方式による事業者選定を行います。



東岡崎駅周辺地区整備イメージ図（北東からの鳥瞰図）

乙川リバーフロント地区整備推進業務

都市整備部 拠点整備課
企画班 (23-6490)

〔予算額 187,800千円〕

■岡崎活性化本部リバーフロント部会からの提言に盛り込まれた、中央緑道南側への新たな人道橋架設、及び徳川四天王の石像設置のための調査・設計を行います。また、社会実験など活性化に向けた試行を支援し、岡崎公園を含むリバーフロント地区の整備計画をとりまとめます。



岡崎活性化本部提言書より

街路・道路新設改良事業

〔予算額 1,279,616千円〕(うちH25経済対策 616,120千円・H26 663,496千円)

都市計画道路、主要市道等の新設及び改良工事を行います。

土木建設部 道路建設課

北西部班 (23-6642)

南東部班 (23-6231)

街路班 (23-6239)

総務班 (23-6442)

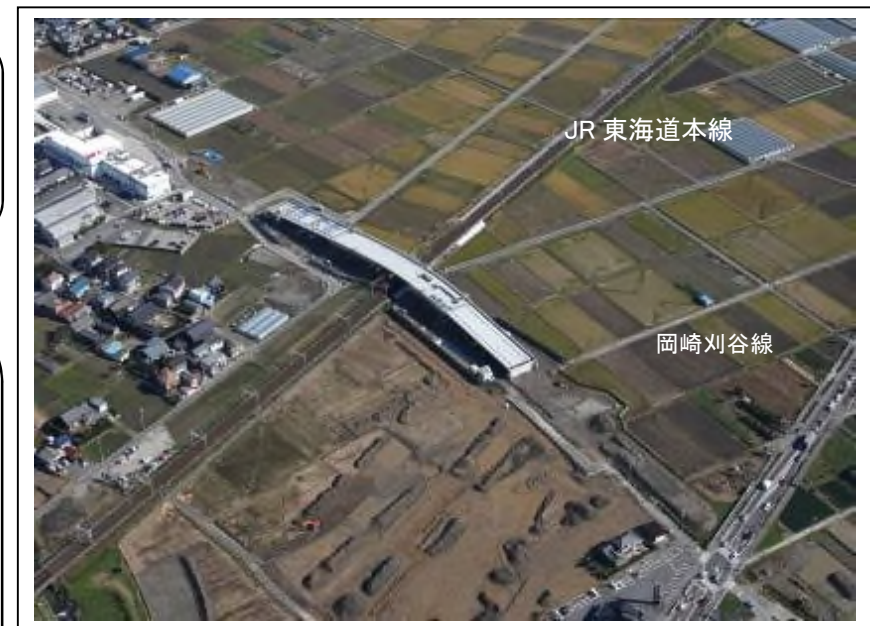
事業予定箇所

街路新設改良事業

- ・ 矢作桜井線
- ・ 岡崎環状線
- ・ 岡崎豊田線
- ・ 若松線
- ・ 井内新村線

道路新設改良事業

- ・ 矢作川堤防リフレッシュ道路（右岸）
- ・ 原下衣文線（牧平）
- ・ 池金本宿線
- ・ 原下衣文線（側道）
- ・ 仁木八反田5号線ほか2路線
- ・ (仮)上平徳林線（岩津細川線バイパス）
- ・ 箱柳岩中線ほか1路線
- ・ 東奥洞七ツ池線 など
- ・ 丹坂駒立線ほか1路線
- ・ 大幡赤坂線
- ・ 北野町線ほか1路線
- ・ 奥殿学校線ほか2路線



～都市計画道路矢作桜井線 進捗状況 H25. 11. 26 撮影～
平成 26 年度末に供用開始予定です。

橋りょう新設改良・維持事業

[予算額 421,404千円] (うちH25経済対策 160,500千円・H26 260,904千円)

土木建設部 道路建設課
北西部班 (23-6642)
南東部班 (23-6231)
総務班 (23-6442)

河川等に架かる橋の新設・改築工事、修繕・耐震事業を行います。

橋りょう新設改良事業

- ・ 井 上 橋 (広田川・県施工)
- ・ 下 川 田 橋 (鹿乗川)
- ・ 新 学 校 橋 (男川)
- ・ 東名側道 73 号橋 (鉢地川・県施工)
- ・ 吹 野 橋 (安藤川)
- ・ 郷 中 橋 (恵田川・県施工) など

橋りょう維持事業 (修繕・耐震)

- ・ 橋りょう修繕設計 (緊急修繕)
- ・ 橋りょう修繕工事 (緊急修繕)
- ・ 下部工耐震計画策定



～新学校橋完成予想図～

平成26年度末に完成する予定です。

橋りょう長寿命化修繕業務

[予算額 115,452千円](うちH25経済対策 10,260千円・H26 105,192千円)

土木建設部 道路建設課
北西部班 (23-6642)
南東部班 (23-6231)
街路班 (23-6239)
総務班 (23-6442)

橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋長 15m以上の橋りょう修繕を行います。

※橋りょう長寿命化修繕計画とは

従来の“悪くなってから対策を行う「事後保全型管理」”から、“早めに修繕して橋を長持ちさせる「予防保全型管理」”へ転換することで、維持修繕費のコスト縮減と橋の延命化（長寿命化）を図ります。

事業予定箇所

長寿命化修繕計画策定橋りょう数 178 橋

平成 26 年度:橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、
橋りょう修繕設計・点検業務及び橋りょう修繕工
事を行います。



修繕事例 1 : 桁塗装



修繕事例 2 : 支承交換

～橋りょう長寿命化修繕イメージ図～

新規 スマートインターチェンジ調査検討業務

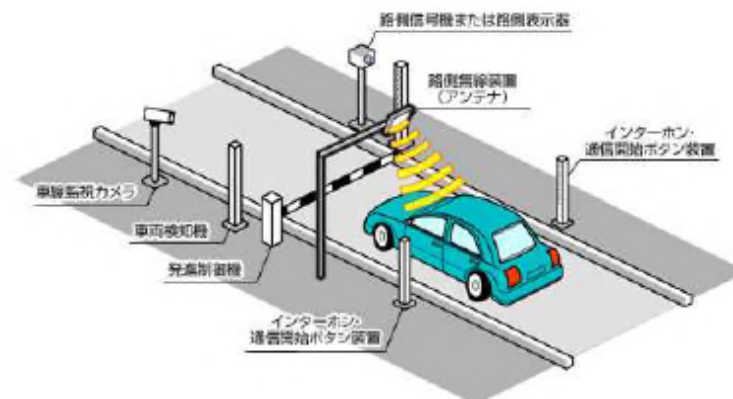
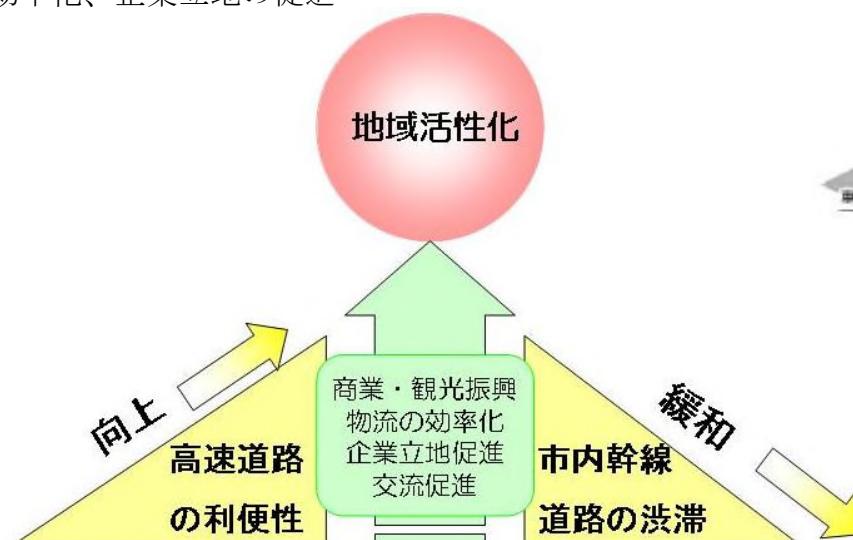
都市整備部 交通政策室
高規格道路整備班（23－6285）

〔予算額 29,000千円〕

高速道路へのアクセスの向上を図ることにより、地域活性化の促進が期待されることからスマートインターチェンジの調査・検討を行います。

◆期待される効果

- ・ 高速道路の通行者及び利用者の利便性の向上
- ・ 幹線道路の渋滞緩和
- ・ 交流活動の促進、観光・商業の振興
- ・ 物流の効率化、企業立地の促進



新規 道路ストック点検修繕業務

〔予算額 40,060千円〕(うちH25経済対策 40,060千円)

土木建設部 道路維持課
 中北部班 (23-6241)
 東 部 班 (23-6317)
 南西部班 (23-6317)
 総 務 班 (23-6223)

市内幹線道路(市道)における道路構造物の点検とその結果に基づく修繕計画の立案を実施します。

点検対象道路

幹線道路 (交通量の多い都市計画道路)

➤市道伝馬町線始め 33 路線 約 45km

点検対象道路構造物

- ▼ 舗 装 約 45km (幹線道路)
- ▼ 法面構造物 45 か所 (幹線道路沿線)
- ▼ 大 型 標 識 44 基 (市で管理する全て)
- ▼ 横断歩道橋 7 橋 (市で管理する全て)



公園緑地整備事業

〔予算額 220,408千円〕

都市整備部 公園緑地課
管理班 (23-6294)
技術班 (23-6181)

■安全で安心して利用できる公園整備を行います。

東公園整備業務

〔予算額 51,500千円〕

東公園は自然と触れ合いながら動物を身近に感じる動物園と広場を中心とした公園であり、飼育環境に配慮した動物園のゾウ舎改修の実施設計を行います。また、未開設の東名高速道路より東側区域の整備に向けた検討を行います。



南公園整備業務

〔予算額 33,208千円〕

南公園は家族レクリエーション型の公園であり、遊園地内の大型遊具の利用が多いことから、安全性確保と長寿命化を図るため、大型遊具の修繕を進めます。



河川・排水路改修事業

〔予算額 1,377,458千円〕(うちH25経済対策 38,000千円(上地新川改修業務)・H26 1,339,458千円)

○ 台風や集中豪雨による浸水被害を軽減し、地域の排水能力・生活環境の向上を図るため、河川及び排水路の整備を行います。

○ 主な河川改修事業

- ・ 占 部 川 改 修 河道改修 (稲荷橋上流～JR 東海道本線下流)
- ・ 上 地 新 川 改 修 河道改修、橋梁改築 3 橋
- ・ 岩 田 川 改 修 河道改修 (新東名高速道路関連事業) 【H26 完成予定】
- ・ 矢作川水辺環境整備 散策路整備 (矢作橋下流右岸)
- ・ 若松川向地区浸水対策 導水路整備

○ 主な排水路改修事業

- ・ 法性寺排水路 ほかに5排水路

土木建設部 河川課
 総 務 班 (23-6468)
 北 西 部 班 (23-6235)
 南 東 部 班 (23-6614)
 治水対策班 (23-6603)

占部川改修業務



床上浸水対策特別緊急事業として実施中である占部川緊急改修の完成へ向け事業を推進します。

矢作川水辺環境整備事業



矢作川の自然に触れ合える水辺空間や健康的な都市環境を創出するため、散策路等の整備を推進します。



住宅・建築物耐震化事業費補助業務

建築部 住宅課
耐震促進班 (23-6254)

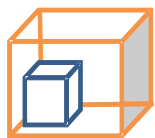
〔予算額 147,661千円〕

昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の住宅・建築物の耐震化を支援します。

住宅(木造・非木造)耐震改修等補助

- ・ 木造住宅無料耐震診断
- ・ 木造住宅耐震改修費等補助
- ・ 非木造住宅耐震診断費補助
- ・ 非木造住宅耐震改修設計費補助
- ・ 非木造住宅耐震改修費補助

新規 耐震シェルター補助



高齢者・障がい者等が住む耐震性の無い木造住宅に対し、耐震シェルターの整備費に対する補助

1戸当たり 上限 30万円

新規

耐震診断義務化建築物に対する耐震改修設計費及び改修費補助

耐震診断の義務付けと結果の公表が行われる建築物に対し、耐震改修設計費及び耐震改修費に対する補助

＜耐震診断義務化建築物＞

- ・ 不特定多数の者が利用する大規模建築物
- ・ 第一次緊急輸送道路沿道で道路閉塞の可能性のある建築物



水道事業の主な取組

〔予算額 6,560,328千円〕

水道局 総務課
財務班 (23-6353)

1 原水及び浄水施設整備事業(987,443千円)

仁木浄水場改良事業として平成24年度から継続事業で実施している排水処理施設更新工事が完成します。

また、県水受水の拠点である上地配水場の受変電設備等の更新工事を平成27年度までの継続事業として実施します。

2 配水・給水施設整備事業(2,338,518千円)

配水管布設・布設替、铸铁管布設替のほか、地震災害等に備え、被災時に優先的に給水が必要となる救急病院や広域避難所等の重要施設への水道管路耐震化を推進します。

3 水道拡張事業(3,056,527千円)

平成25年度からの継続事業である六供配水場配水池改良工事を行います。本年度は既設ろ過池の撤去を完了し、配水池築造工事に着手します。

また、基幹浄水場である男川浄水場の更新工事が本格化します。工事は平成25年度から着手しており、平成29年度中の供用開始を予定しています。

4 簡易水道事業特別会計の主な取組(177,840千円)

河原下配水池耐震化工事、宮崎浄水場計装設備更新工事を実施するとともに、漏水軽減等、水道管路強化のため布設替工事を行います。



※ 男川浄水場の完成イメージ

○ 平成26年度の主要事業

1 原水及び浄水施設整備事業

仁木浄水場排水処理施設更新工事	排水処理施設建築、機器設置・調整及び工事の施工監理 (平成24～26年度継続事業:総額1,263,800千円)	670,200千円
上地配水場設備更新工事	受変電設備、配水ポンプ製作及び工事の施工監理 (平成26・27年度継続事業:総額643,000千円)	170,000千円

2 配水・給水施設整備事業

鋳鉄管布設替工事	老朽鋳鉄管の布設替 口径φ100～250 総延長 2,750m	315,000千円
水道管路耐震化工事	中央総合公園ルート始め5箇所 口径φ150～600 総延長 3,800m	630,000千円

3 水道拡張事業

六供配水場配水池改良工事	既設ろ過池撤去、配水池・ポンプ棟築造工事 (平成25～28年度継続事業:総額1,600,000千円)	453,000千円
男川浄水場更新工事	更新工事(平成24～29年度:総額9,407,000千円) アドバイザリー業務(平成24～29年度:総額41,436千円)他	2,513,284千円

4 簡易水道事業特別会計の主な取組

河原下配水池耐震化工事	FRP製水槽をステンレス製に更新	41,150千円
宮崎浄水場計装設備更新工事	計装盤等の更新	60,690千円
水道管布設・布設替工事	毛呂町ほか 口径φ50～150 総延長 1,330m	76,000千円

下水道事業の主な取組

下水道部 下水工事課
計画 1 班 (23-6547)

[予算額 5,043,750千円] (うちH25経済対策 1,300,000千円・H26 3,743,750千円)

未普及地域の污水整備を進め、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全に努めます。

また、浸水対策として雨水整備を積極的に進めるとともに、施設の耐震化や老朽管の改築更新などを実施し、都市生活の安全・安心に貢献します。

1 污水整備事業(1,177,800千円) (うちH25 103,700千円)

平成24年度末の下水道普及率は86.0%となり全国平均を9.7%上回っている状況です。平成26年度は、整備面積を約12haとし、公共下水道で処理することが合理的である市街化調整区域の污水整備を引き続き進めます。

2 雨水整備事業(2,827,800千円) (うちH25 1,100,000千円)

雨水管渠は、久後崎幹線、紅蓮幹線などの築造工事を進めます。雨水ポンプ場は、中島雨水ポンプ場、福岡雨水ポンプ場の建設工事を進めます。

3 地震対策整備事業(158,116千円)

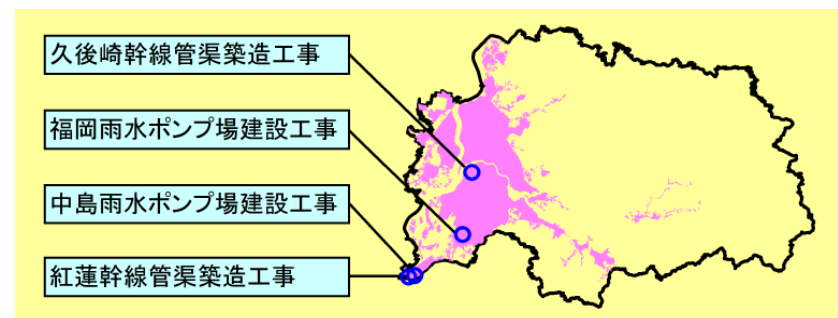
東海・東南海地震などに備えた管渠及びポンプ場の耐震化を進めます。

4 改築更新整備事業(861,284千円) (うちH25 96,300千円)

劣化の激しい老朽管の管更生工事及びポンプ場の改築工事などを進めます。

5 その他の主な取組(18,750千円)

下水道災害対応トイレの設置、市民による雨水貯留浸透施設の設置(補助制度)を推進します。



○ 平成26年度の主要事業

事業名	内 容	予算額
1 汚水整備事業	公共下水道(汚水)の未普及地域解消を図る。 仁木町、中之郷町、洞町、檜山町(φ150mm～φ450mm L=9,000m)	H25経済対策 103,700千円 H26 1,074,100千円
2 雨水整備事業	雨水管渠と雨水ポンプ場の整備をすることにより浸水被害の解消・軽減を図る。	
雨水管渠整備	久後崎幹線築造工事(φ1,800mm L=1,266.5m、平成24～26年度:総額1,123,500千円) 完成予定 紅蓮幹線築造工事(φ1,650mm L=479.0m、平成25～26年度:総額826,500千円) 完成予定	H25経済対策 1,100,000千円 H26 1,187,800千円
雨水ポンプ場整備	中島雨水ポンプ場建設工事(Q=3.4m³/s、N=3台、平成23～26年度:総額825,000千円) 完成予定 福岡雨水ポンプ場建設工事(Q=4.6m³/s、N=4台、平成25～29年度:総額2,165,000千円)	540,000千円
3 地震対策整備事業	東海、東南海地震などに備えた管渠及びポンプ場の耐震化を進める。 下水道管渠耐震対策 大門雨水ポンプ場耐震補強(平成25～26年度:総額100,000千円)	158,116千円
4 改築更新整備事業	老朽管の管更生工事とポンプ場の改築工事を進める。 下水道管渠管改築(管更生) 美合汚水中継ポンプ場耐水化	H25経済対策 96,300千円 H26 764,984千円
5 その他の主な取組	- 矢作南小学校及び六ツ美南部小学校に下水道災害対応トイレの設置を行う。 - 市民による雨水貯留浸透施設の設置補助を行う。	18,750千円

※ φ:口径、L:延長、Q:全体排水量、N:ポンプ台数